

## 新型コロナウイルス感染症に便乗した犯罪に注意！

今年は新型コロナウイルスの流行により、情報不足による不安、学校休校や外出自粛による街中の様子の変化など例年とは違う状況の中、それに便乗した犯罪が出てきています。

下記に例を紹介するので犯罪に遭わないように注意してください。

### ①厚生労働省を名乗る者から電話が掛かって来て個人情報聞き出す

「費用を肩代わりするので新型コロナウイルスの検査を受けるように」と言って個人情報を聞き出すとする電話が掛かってきているそうです。厚生労働省では各家庭にそのような連絡をすることは無いとのことですのでご注意ください。

### ②「水道管にコロナウイルス」がいると騙し除去費用の支払いを要求する

水道業者を名乗る男から電話があり、コロナウイルスの除去に8万～20万円を支払うよう指示されたそうです。そのような電話があっても絶対に口座番号や暗証番号などを教えないようにしましょう。

### ③ 高機能マスクの宣伝を装うメールなどが届く

「新型コロナウイルスの空気感染を99.99%の確率で防ぐ」というメールが届き、記載されたリンクをクリックすると、販売ページが表示され、クレジットカード情報の入力求められます。他にも「マスクの無料送付確認メール」や「米国疾病管理予防センターを名乗るメール」など怪しいメールが届いているそうです。身に覚えのないメールは、読まずにそのまま削除しましょう。



### ④子どもだけで留守番をしている家を狙った強盗

休校や春休みを迎えるため子どもだけで留守番をする機会が増え、それを狙った強盗も増えることが想定されます。宅配業者や工業者を名乗り、子どもをだましてドアを開けさせる手口が多いので絶対にドアを開けないことを徹底させましょう。また、電話をかけて保護者がいるかあらかじめ確認するケースもあります。留守番電話に設定するなど子どもが直接電話に出ないようにしましょう。

## ●キャッシュカードすり替え詐欺にも引き続きご注意ください！

苫小牧市内でキャッシュカードすり替え詐欺の予兆と思われる電話が3月2日だけで30件以上掛かってきているとの情報が苫小牧警察署より入っています。電話の内容は、先月号の地域安全ニュースでお知らせした内容とほぼ同じで「苫小牧警察署の警察官」を名乗っているそうです。被害に遭わないためにも「警察官を名乗る電話でも安易に信用して自宅の場所を教えない」、「警察官を名乗った者がいきなり来訪しても絶対にキャッシュカードを渡したり暗証番号を教えない」、「心配な場合は、最寄りの駐在所か苫小牧警察署に相談する」を心がけ、詐欺に遭わないようにしましょう。



不審者や不審車両を見かけたら  
警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎0144 ☎0110 追分駐在所 ☎☎2003 安平駐在所 ☎☎2339  
早来駐在所 ☎☎2030 遠浅駐在所 ☎☎2211 総務課 ☎☎2511